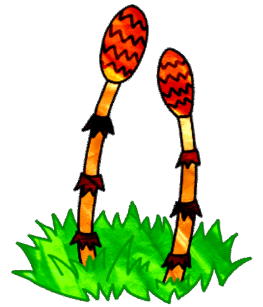




ほくとライブラリー



新屋図書館だより



発行 秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26

TEL 018-828-4215

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/al/default.htm>

(携帯用)http://www.city.akita.akita.jp/i/ed/ml/c_5/1.htm

No. 198

H30. 4月号

今年是新屋図書館 移転 開館 20年！

「新屋で活動する人びと」展

平成30年4月21日(土)～22日(日)

新屋図書館は今年で移転開館から20年を迎えます。

その記念事業として、新屋で活動する団体を紹介するパネル展「新屋で活動する人びと」を実施！

そのほか、4月中には旧新屋図書館の写真等を展示する予定です。

春のブックフェア

新学期だよ 読んでみよう 教科書にのってる本

平成30年4月17日(火)～5月13日(日)

春の読書週間にあわせ、学校の教科書に載っている作品を集めたブックフェアを開催します。

新しい学期に向けて、いろいろお話を読んでみてはいかがでしょうか？

4月のおはなし会

4月7日(土) 14:00～14:40

もう春ですよ

～写真絵本・手袋シアター～

(おはなしのへや・幼児～小学生)

4月10日(火) 10:30～11:00

おいでおいで春ですよ

～絵本・指人形～

(おはなしのへや・赤ちゃん～)

新刊案内

bonとpon ふたりの暮らし

bonpon / 著

主婦の友社 請求記号 B589 (ファッション)

秋田でご家族とお住まいだったご夫妻が、子育てを終え、仕事を退職したのを機に、仙台で二人きりのセカンドライフを始めます。次女に薦められて始めたインスタグラムが、60代カップルコーディネートの見本として驚異のフォロワー50万人超え！心温まるインタビューも掲載。



秋田犬

宮沢 輝夫 / 著

文藝春秋 請求記号 A645 (日本犬)

フィギュアスケート金メダリストのザギトワ選手効果で、世界的に秋田犬が話題になっていますが、実は珍しいDNAを持つ日本犬で、不断の努力がなければ減少し続け、存亡の危機に瀕していることを知っていましたか？秋田犬の歴史と未来について丁寧に考察しています。

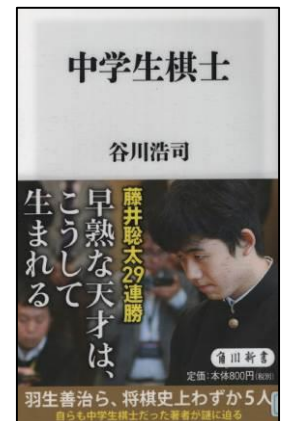


中学生棋士

谷川 浩司 / 著

KADOKAWA 請求記号 796 (将棋)

空前の将棋ブームの中、当然ながら、藤井聡太棋士に関する本も数多く出版されています。中学生棋士は、藤井棋士も含め過去5人。この本は、そのうちの一人である谷川浩司棋士が、早熟な才能について、教育論もからめて語ったものです。

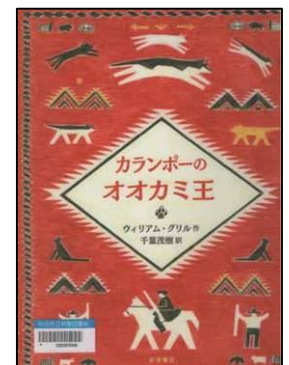


カランポーのオオカミ王

ウィリアム・グリル / 作 千葉 茂樹 / 訳

岩波書店 請求記号 92グ (外国の読み物)

若き日の動物学者シートンと一匹の野生のオオカミのロボとの出会いから別れまでの物語です。この出会いによってシートンの動物に対する考え方が変化し、自然環境保護運動が必要であることを強く思うようになります。そしてロボと妻のブランカの美しい物語でもあります。



図書館員（大野 美子）のおすすめ本

書名	アイヌのむかしばなし ひまなこなべ
著者名	萱野 茂／文 どい かや／絵
出版社	あすなろ書房
所蔵	新屋・明德 請求記号 Eド （ 絵本 ）



この絵本はアイヌの昔話をもとに、アイヌ文化研究者の萱野氏が文章を書きました。アイヌの昔話が好きな私にとって大好きな絵本の一冊です。

アイヌの人々は、山や川、動物、植物、道具にも魂が宿ると考え、カムイ（神）として敬ってきました。アイヌに仕留められたくまに対しても、これ以上ないほどの心づくしのお礼をし

ます。それがあまりにもすばらしいので、天の国に帰ったくまはアイヌの世界にまた戻って来ます。

このお話から人間は他の命をいただいて生きているということの重みも伝わってきます。アイヌの昔話には人生に大切なことがたくさんつまっています。遠い昔から語り継がれてきた先住民族の知恵に耳をかたむけてみましょう。

図書館員（近藤 明奈）のおすすめ本

書名	アリのかぞく 月刊かがくのとも
著者名	島田 拓／ぶん 大島 加奈子／え
出版社	福音館書店
所蔵	新屋・明德・土崎・河辺 請求記号 Eオ （ 絵本 ）



あたたかくなり、そろそろ生き物たちが元気に動き回る季節です。土の中にいるアリも、そろそろ地上に出てくる頃ではないでしょうか。

今回紹介する『アリのかぞく』は、アリの地中での生活がとても丁寧に描かれている絵本です。絵がリアルで、まるで目の前で本当にアリの巣を観察しているかのよう。絵を担当した大島加奈子さんは、実際にアリを飼い、観察しな

がら絵を描いたそうです。

アリは私たちの身近にいる昆虫ですが、実は知らないことばかり。時々見かけるアリのひっこしですが、中には自分で歩かず、仲間に連れて行ってもらうアリがいるんだとか。

アリは仲間と協力しながら生活している昆虫です。どんなふうに協力しているのか、アリの巣をのぞくつもりで読んでみてください。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・どれを選ぶ？・・・

売り場にずらりと並んだワイン。どれを選ぶか悩みませんか？なんと言っても種類が多すぎる！そんな悩み多きワイン選びの参考になる記事を見つけたので紹介します。「ボトルの形は中身のヒント」と題した記事。それによると、ワインボトルの形は産地によって違うそうです。いかり肩のボルドー型は渋みが強く味わいもしっかりした傾向のワインが、なで肩のブルゴーニュ型は渋みが穏やかな傾向のワインが多いとのこと。ぜひ、ワイン選びの参考にしてみてください。ちなみに、外観で選ぶもう一つのポイントに、ラベルだけで選ぶ「ジャケ買い」が挙げられています。それもワイン選びの楽しみかもしれません。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
朝日新聞
2018年2月3日

平成ってどんな時代？ …平成12年…

平成12年は2000年。この年は、新しい「千年紀」＝ミレニアム・イヤーを祝福するムードの中で始まりました。その裏では、西暦が2000年に変わった瞬間にコンピューターに誤作動が起きる「2000年問題」が危惧されていましたが、大きな混乱が起きることはありませんでした。

9月にはシドニーオリンピックが開催され、柔道の田村亮子選手、野村忠宏選手、井上康生選手、滝本誠選手、マラソンの高橋尚子選手が金メダルを獲得するなど、多くの日本の選手が活躍しました。

年末の12月30日には、世田谷に住む家族4人が何者かに殺害されるという痛ましい事件も起きました。この事件はいまだに解決しておらず、現在も犯人の捜索がおこなわれています。

秋田県では、県庁の第二庁舎が完成し、秋田市立御所野学院中学校・高等学校が開校。新屋向浜に屋内温水プールができるなど、街の景観が新しくなった一年でした。

【参考資料】「秋田魁年鑑2001」「秋田魁年鑑2002」

図書館員のひとりごと

太陽の日差しが暖くなり、春をグッと感じるようになってきました。もうすぐ桜も咲いてきますね。春は出会いの季節、そして……別れの季節でもあります。

このたび2年間の勤務期間を終え、新屋図書館を退職することになりました。至らないところだらけな私でしたが、職場の方々や図書館に足を運んでくださる皆様の温かさのおかげで、ここへ通う毎日がとても楽しく充実したものになりました。そして、新しい“夢”もできました。改めてお礼を申し上げます。ここでの経験を活かし、また一步踏み出していきたいと思えます。お世話になりました！（能登谷）

花粉症で目がかゆく毎日涙目になっていますが、春はそれでもなくとも涙もろくなっています。毎年いよいよ異動か？！とドキドキハラハラして辞令の日を迎えますが、新屋図書館からは退職者が2人、異動する者はおりませんでした。長年お世話になったベテラン司書の先輩、可能性に満ち溢れたピチピチの後輩、どちらとも別れがたく、様々な出来事を思い出してはうるうるしてしまい、自分がここに居てもいいのか、今まで何ができたか、自問自答を繰り返しています。4月には新屋図書館が移転開館20年を迎えます。頑張りますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。（大石）